

$xy$  平面上の点 P, Q を

$$P(t, 2te^{-t}), \quad Q(3t, 6te^{-2t})$$

とする。ただし  $t > 0$  とする。

(1) P と Q の  $y$  座標が等しいとき, P の座標は

$$\left( \log \boxed{40}, \frac{\boxed{41}}{\boxed{42}} \log \boxed{43} \right)$$

である。

(2)  $t$  が  $t > 0$  の範囲を動くとき, 直線 PQ の傾きは  $t = \log \boxed{44}$  のとき最小であり,

そのときの傾きは  $\frac{\boxed{45} \boxed{46}}{\boxed{47} \boxed{48}}$  である。

(3) 直線 PQ の傾きが  $\frac{1}{2}$  であるとき,

$$t = \log \left( \sqrt{\boxed{49}} - \boxed{50} \right)$$

である。

(26 青山学院大 全学部 理系 4)

【答】

40	41	42	43	44	4546	4748	49	50
3	2	3	3	6	-1	12	7	1

【解答】

$$P(t, 2te^{-t}), \quad Q(3t, 6te^{-2t}) \quad (t > 0)$$

(1) P と Q の  $y$  座標が等しいとき

$$2te^{-t} = 6te^{-2t}$$

$$2te^{-t}(1 - 3e^{-t}) = 0$$

$t \neq 0$  ( $> 0$ ) より

$$1 - 3e^{-t} = 0 \quad \therefore e^t = 3 \quad \therefore t = \log 3$$

である。このとき, P の座標は

$$\left( \log 3, \frac{2}{3} \log 3 \right) \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

(2) 直線 PQ の傾きは

$$\frac{6te^{-2t} - 2te^{-t}}{3t - t} = 3e^{-2t} - e^{-t}$$

である。  $m(t) = 3e^{-2t} - e^{-t}$  とおくと

$$m'(t) = 3e^{-2t} \cdot (-2) - e^{-t} \cdot (-1) = -\frac{6}{e^{2t}} + \frac{1}{e^t} = \frac{-6 + e^t}{e^{2t}}$$

$t > 0$  のときの  $m(t)$  の増減は下表となる。

$t$	(0)	...	$\log 6$	...
$m'(t)$		-	0	+
$m(t)$		↘		↗

よって,  $m(t)$  は,  $t = \log 6$  のとき  $\dots\dots(\text{答})$

$$\text{最小値 } m(\log 6) = 3e^{-2 \log 6} - e^{-\log 6} = 3 \cdot 6^{-2} - 6^{-1} = \frac{3}{36} - \frac{1}{6} = \frac{-1}{12} \quad \dots\dots(\text{答})$$

をとる。

(3)  $m(t) = \frac{1}{2}$  となる  $t$  の値は

$$3e^{-2t} - e^{-t} = \frac{1}{2}$$

$$6 - 2e^t = e^{2t}$$

$$e^{2t} + 2e^t - 6 = 0$$

$t > 0$  より  $e^t > 1$  であり

$$e^t = -1 + \sqrt{7} \quad \therefore \quad t = \log(\sqrt{7} - 1) \quad \dots\dots(\text{答})$$

である.